

問1 つぶの大きさが大きいものも多く、水がしみこむのが速いという特 徴をもつ、地面のつぶは何ですか。

1. ねんど 2. すな 3. つち 4. じゃり

問2 1日の気温の変化を表すために使われる、横のじくに時こくを、たてのじくに気温をとったグラフは何ですか。

1. 気温の棒グラフ 2. 気温の折れ線グラフ 3. 気温の円グラフ 4. 気温の帯グラフ

問3 1日の気温の変化が、晴れた日とくらべて小さくなるのは、どのような天気の日ですか。

1. 風がまったくない晴れの日 2. 日ざしがとても強い日 3. 雲がまったくない日 4. くもりや雨の日

問4 つぶの大きさがちがう「砂場の砂」と「運動場の土」に同じ量の水を流したとき、水が早くしみこむのはどちらですか。

1. どちらも水はまったくしみこまない 2. どちらも同じ速さでしみこむ 3. つぶが小さい運動場の土 4. つぶが大きい砂場の砂

問5 校庭の土に水がしみこむのに時間がかかるのは、土のつぶにどのような特 徴があるからですか。

1. つぶの色がすべて黒いから。 2. つぶの大きさが小さいものが多いから。 3. つぶの大きさが大きいものが多いから。 4. つぶの形がすべて正方形だから。

問6 気温を正しくはかるとき、地面からどのくらいの高さではかりますか。

1. 1.2～1.5m 2. 0.2～0.5m 3. 5.2～5.5m 4. 3.2～3.5m

問7 昼間は高くなり、夜は低くなる、1日の中での温度のうつり変わりのことを何といいますか。

1. 1日の天気の変化 2. 1か月の気温の変化 3. 1日の気温の変化 4. 1年の気温の変化

問8 気温を正しく測るとき、どのような場所の空気の温度を測るのが正しいですか。

1. 風がまったく通らない密閉された箱の中 2. 地面に直接 接ふれる場所 3. 日光が直接 接当たる日なた 4. 日光が直接 接当たらぬ日かげ

問9 空に雲があるとき、天気が「晴れ」であるといえるのは、どのような状 態のときですか。

1. 空全体が雲でおおわれているとき 2. 青空が見えているとき 3. 雨がふっているとき 4. 強い風がふいているとき

問10 雨が降ったときの地面の水の動きについて、正しい説明はどれですか。

1. すべての水が地面を流れていき、その場所にたまることは絶対にない。 2. すべての水がその場所にたまり、地面を流れていくことは絶対にない。 3. 地面を流れることも、その場所にたまることも絶対にない。 4. 地面を流れていくこともあれば、流れずにその場所にたまっていることもある。

問11 空に雲がたくさん広がって、青空がほとんど見えないときの天気を何といいますか。

1. 雨 2. くもり 3. 雪 4. はれ

問12 土のつぶの大きさと、水がしみこむ速さにはどのような関係がありますか。

1. 土のつぶの大きさに関係なく、しみこむ速さは同じである。 2. 土のつぶが大きいほど、水がしみこみやすい。 3. 土のつぶが大きいほど、水はまったくしみこまない。 4. 土のつぶが小さいほど、水がしみこみやすい。

問13 晴れた日の1日の気温の変化には、どのようなとくちょうがありますか。

1. 夜に向かって気温が上がり続ける 2. 気温の変化が大きい 3. 気温がまったく変わらない 4. 気温の変化が小さい

問14 気温をはかるとき、温度計に日光が直接 接当たらぬようにするのはなぜですか。

1. 温度計が直接 接あたらぬため、正しい気温がはかれなくなるから。 2. 温度計がぬれてしまって、正しい気温がはかれなくなるから。 3. 温度計が冷やされて、正しい気温がはかれなくなるから。 4. 温度計のまわりの風が強くなって、正しい気温がはかれなくなるから。

答え合わせ・解説 No.2

問1	答え 4 じゃり	じゃりは、すなやねんどに比べてつぶの大きさが大きく、水がしみこむのが速いという特徴があります。
問2	答え 2 気温の折れ線グラフ	1日の気温の変化を表すときには、横のじくに時こく、たてのじくに気温をとった「気温の折れ線グラフ」を使います。
問3	答え 4 くもりや雨の日	くもりや雨の日は、晴れた日とくらべると1日の気温の変化が小さくなるという特ちょうがあります。
問4	答え 4 つぶが大きい砂場の砂	つぶの大きさが大きい砂場の砂のほうが、つぶの小さい運動場の土よりも水がしみこみやすい性質があります。
問5	答え 2 つぶの大きさが小さいものが多いから。	校庭の土はつぶの大きさが小さいものが多いため、水が通り抜けにくく、しみこむのに時間がかかります。
問6	答え 1 1.2～1.5m	気温は、地面から1.2～1.5mの高さではかる決まりになっています。
問7	答え 3 1日の気温の変化	1日の中で気温が上がったり下がったりするうつり変わりのことを「1日の気温の変化」といいます。
問8	答え 4 日光が直接 当たらない日かげ	気温は空気そのものの温度のことなので、日光が直接 接温度計に当たって温度計自体が温まらないよう、日かげで風通しのよい場所で測ります。
問9	答え 2 青空が見えているとき	雲があっても、青空が見えているときのことを「晴れ」といいます。
問10	答え 4 地面を流れていくこともあれば、流れずにその場所にたまっていることもある。	雨が降ったとき、水は地面を流れていくこともあれば、流れずにその場所にたまることもあります。
問11	答え 2 くもり	空に雲が広がって、青空がほとんど見えないときの天気を「くもり」といいます。
問12	答え 2 土のつぶが大きいほど、水がしみこみやすい。	土のつぶが大きければ大きいほど、つぶとつぶの間のすき間が大きくなるため、水がしみこみやすくなります。
問13	答え 2 気温の変化が大きい	晴れた日は、太陽の光が地面をよくあたためるため、1日の気温の変化が大きくなります。
問14	答え 1 温度計が直接 あたためられて、正しい気温がはかれなくなるから。	温度計に日光が直接 接あたためると、温度計自体があたためられてしまい、正しい空気の温度がはかれなくなります。